

教科	書写	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のもどまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
用具の準備/用具のかたづけ	1	○毛筆用具の準備のしかたと片づけ方を理解することができる。	毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解している。	毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を確かめている。	積極的に毛筆用具の準備のしかた・片づけ方を理解し、学習課題に沿って適切に扱おうとしている。
部分の組み立て方①(によう)	1	○二つの「道」を比べて、どちらの字形が整って見えるか考え、その理由を友達どうしやグループで話し合う。	○「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	○毛筆で「道」を書写するなかで、「によう」をもつ漢字の組み立て方を確かめている。	○進んで「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、学習課題に沿って「によう」をもつ漢字を書こうとしている。
部分の組み立て方②	1	○これまでに学習した漢字の部分の組み立て方に気を付けて、鉛筆で漢字を書く。	○漢字の部分の組み立て方への理解を深めて書いている。	○硬筆で漢字を書くなかで、漢字の部分の組み立て方を確かめている。	○進んで「によう」をもつ漢字の組み立て方を理解し、学習課題に沿って「によう」をもつ漢字を書こうとしている。
書くときの速さ [教科書P10] 場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書くことができる。	1	○P10の4つの場面では、それぞれどのような速さで書くのがよいかを考え、理由も合わせて友達どうしやグループで話し合う。 ○P10下段の「たいせつ」を見て、文字を書く速さは場面によって変わることを理解する。 ○学校生活のどの場面で、どのような速さで書くのがよいかを考え、友達どうしやグループで話し合うとともに、実際に速さを意識して書いてみる。	○場面と書く速さの関係を理解し、書く速さを意識して書いている。	○文字を書くときには、場面にふさわしい速さがあることを確かめている。	○積極的に場面と書く速さの関係を理解し、学習課題に沿って速さを意識して書こうとしている。
書写広げたい①<国語> [教科書P11] 速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書くことができる。	1	○インタビューメモを書くときは、どのような速さで書くのがよいかを考え、話し合う。 ○速く正確に書き留めるための方法を確認する。必要に応じてP9を参照する。 ○実際にインタビューをして、相手の話の要点を書き留める。(または、P11のインタビュー例を用いて、要点を書き留めてみる。) ○速さを意識して、話の要点を書き留めることができたかを話し合う。	○速く正確に書き留めるための方法を理解し、書く速さを意識して書いている。	○インタビューメモを書く活動のなかで、すばやく書き留めるための方法を確かめている。	○積極的に速く正確に書き留めるための方法を理解し、学習課題に沿ってインタビューメモを書こうとしている。
手書きの力[教科書P12] 手書き文字のもつ力やよさについて理解することができる。	1	○P12の手書きの壁新聞を見て、受けた印象や手書き文字のもつ力・よさについて話し合う。 【学習活動の応用例】 ○手書きで書かれたプリントやチラシを集め、活字のものとの違いやそのよさについて話し合う。	○手書き文字のもつ力やよさについて理解している。	○手書き文字のもつ力やよさについて考えている。	○進んで手書き文字に興味をもち、学習課題に沿って壁新聞から受けた印象について話し合おうとしている。
[もっと知りたい]手書き文字と活字[教科書P13] 手書き文字と活字の違いを理解することができる。	1	○3種類の「令」の違いについて、字形や読みやすさ、受ける印象などの観点から、友達どうしやグループで話し合う。 ○手書き文字と活字の違いを理解する。 ○P13の「地いきゆかりの活字」を見て、それぞれの活字の由来やデザインの特徴を知り、活字への興味を高める。	○手書き文字と活字の違いを理解している。	○手書き文字と活字の違いを確かめている。	○積極的に手書き文字と活字の違いを考え、学習課題に沿って手書き文字と活字の違いや、地域ゆかりの活字について話し合おうとしている。
点画のつながりと字形 [教科書P14-15] 点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くことができる。	2	○P14上段の「こい」を指でなぞり、点画のつながりと字形の関係について考え、友達どうしやグループで話し合う。 ○P14下段の「たいせつ」を見て、穂先を次の画の始筆につなぐ気持ちで書くと、字形が整うことを理解する。 ○墨の付いていない筆で穂先の動きをなぞり、「ふるさと」を書くときの点画のつながりを確かめる。 ○穂先の動きと点画のつながりを意識して、毛筆で「ふるさと」を書く。 ○毛筆の学習を生かして、「ふるさと」うぐいずを鉛筆でなぞる。	○点画のつながりと字形の関係を理解し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書いている。	○穂先の動きと点画のつながりを意識して「ふるさと」を毛筆で書写するなかで、点画のつながりと字形の関係を確かめている。	○積極的に穂先の動きと点画のつながりを意識し、学習課題に沿って平仮名の言葉を書こうとしている。
筆順と字形[教科書P16-17] 筆順と字形の関係を理解して書くことができる。	2	○P16上段の「原」と「皮」を見て、筆順と画の始筆の付き方との関係について考え、友達どうしやグループで話し合う。 ○P16下段の「たいせつ」を見て、画の始筆どうしが付くときは、先に書いた画が出ることを理解する。 ○「成長」の筆順と画の始筆の付き方との関係を確かめる。 ○筆順と画の付き方との関係に気がつけて、毛筆で「成長」を書く。 ○毛筆の学習を生かして、「成長」野	○筆順と字形の関係を理解して書いている。	○毛筆で「成長」を書写するなかで、画の始筆の付き方を確かめている。	○進んで筆順と字形の関係を考え、学習課題に沿って画の始筆どうしが付く漢字を書こうとしている。

<p>ことば【教科書P18-19】 今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。</p>	1	<p>○言葉の響きやリズムを楽しみながら、「竹取物語」を声に出して読む。 ○今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、「竹取物語」を鉛筆でなぞる。</p>	<p>○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p>	<p>○「竹取物語」をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○積極的に習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かして、「竹取物語」をなぞろうとしている。</p>
<p>文字の大きさ(漢字と仮名) 【教科書P20-21】 漢字と仮名の大きさに注意して書くことができる。</p>	2	<p>○P20の△と○の例を見て、文字(漢字と仮名)の大きさと読みやすさの関係について、友達どうしやグループで話し合う。 ○P20下段の「たいせつ」を見て、漢字を大きめに、平仮名は小さめに書くと、読みやすくなることを理解する。 ○「読む」の外形をなぞり、漢字と仮名の大きさのバランスを確かめる。 ○漢字と仮名の大きさに気をつけて、毛筆で「読む」を書く。 ○毛筆の学習を生かして、「読む・聞く」を鉛筆でなぞる。</p>	<p>○漢字や仮名の大きさに注意して書いている。</p>	<p>○毛筆で「読む」を写すなかで、漢字や仮名の大きさを確かめている。</p>	<p>○進んで漢字や仮名の大きさに注意し、学習課題に沿って毛筆と硬筆で「読む」を書こうとしている。</p>
<p>用紙に合った文字の大きさ 【教科書P22-23】 用紙全体の大きさと文字数を考え、文字の大きさと配列を決めて書くことができる。</p>	2	<p>○1P22の㉑～㉒のうち、バランスよく見えるものを選び、選んだ理由を友達どうしやグループで話し合う。 ○P22下段の「たいせつ」を見て、用紙全体の大きさと文字数を考え、書く前に文字の大きさと配置を決めると読みやすく書けることを理解する。 ○用紙(半紙)に合った文字の大きさや配置を考えて、毛筆で「飛行」を書く。 ○毛筆の学習を生かして、「飛行・白雲」を鉛筆でなぞる。 ○「飛行」や「白雲」を、いろいろな大きさの紙にバランスよく見えるように書く。</p>	<p>○用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書いている。</p>	<p>○毛筆で半紙に「飛行」を写すなかで、半紙に対する文字の大きさや配置を工夫している。</p>	<p>○進んで文字の大きさや配置について考え、学習課題に沿っていろいろな大きさの用紙にバランスよく書こうとしている。</p>
<p>めざせ！ 新聞記者 【教科書P24-25】 漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことができる。</p>	硬筆 2 ／ 毛筆 1	<p>○P24の新聞の例を見て、読みやすくするためにどのような工夫をしているか、友達どうしやグループで話し合う。 ○P25のポイント①②を見て、新聞などを読みやすく書くための配列のポイントを理解する。 ○P24の新聞の例ではどのような筆記具が使われているか、P25の「筆記具の選たく」を参考に考える。 ○P25下段の「たいせつ」を見て、新聞などを読みやすく書くための文字の配列や筆記具の使い分けのポイントを確かめる。 ○学習したことを生かして、新聞などを制作する。</p>	<p>○漢字や仮名の大きさ、配列に注意するとともに、目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書いている。</p>	<p>○新聞などを制作する活動のなかで、漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなど、学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○積極的に漢字や仮名の大きさ、配列、筆記具の使い分けなどを工夫して、学習課題に沿って新聞などを読みやすく書こうとしている。</p>
<p>書きぞめ 【教科書P26-29・P45-48】 今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。</p>	硬筆 1 ／ 毛筆 5	<p>○書き初めとは何かについて、確かめる。 ○今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、毛筆で「希望」や「新しい風」を書く。 ○今までに学習した知識・技能の生かし方を考えて、硬筆で文章を書く。</p>	<p>○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p>	<p>○書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○積極的に習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かして書き初めを書こうとしている。</p>
<p>五年生のまとめ①② 【教科書P30-33】 第5学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。</p>	毛筆 2	<p>○P30-31の「たいせつ」のまとめを見て、今までに学習した知識・技能を振り返り、「近づく春」を書くときに生かせることを考え、P32下段の「書写の言葉」を使って自分のめあてを書く。 ○めあてに気をつけて、毛筆で「近づく春」を書く。 ○P42-44「五年生で学習する漢字」などから、2で決めためあてに沿った文字を選んで、硬筆で書く。</p>	<p>○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p>	<p>○毛筆で「近づく春」を写すなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○進んで習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かして自分で決めためあてに沿った文字を書こうとしている。</p>
<p>六年生を送る会に向けて 【教科書P34】 今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。</p>	硬筆 1 ／ 毛筆 1	<p>○これまでにお世話になった六年生に感謝の気持ちを伝えるという目的を確認し、送る会に用意するものを考え、話し合う。 ○筆記具や用紙を決める。 ○文字の大きさや配列など、今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、プログラムや寄せ書き、メッセージカードなどを書く。</p>	<p>○今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p>	<p>○プログラムや寄せ書きなどを書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p>	<p>○進んで習得した知識・技能を振り返り、これまでの学習を生かしてプログラムや寄せ書きなどを書こうとしている。</p>
<p>書きぞめ</p>	3	<p>○15年間の学習内容や学習の進め方について確認し、書写学習に対する意欲をもつことができる。</p>	<p>○書きぞめの姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心について理解している。 これまで学習した文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書いている。</p>	<p>○書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。</p>	<p>○書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習の書写場面でも、よい姿勢や持ち方、文字の大きさや組み立て方、文字の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。</p>